



2017-2018 年度 第 1759 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：坂本昭一 幹事：藤島 拓 広報委員会リーダー：酒澤伸二

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ<<水曜 12:30>>

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）

ロータリー：
変化をもたらす



2月 第1例会

2018年2月7日(水)



会員数 53名 出席 35名



司 会

桑田 豊豪 S.A.A

- 国歌斉唱「君が代」
- ロータリーソング「我らの生業」



会長の時間

坂本 昭一 会長

皆さんこんにちは。

記録的な大雪で家屋や交通などに大きな被害が出ています。また、世界では株価が急落し、日本の経済がどの様になって行くか、我々企業人には厳しい立場におかれませんが、冬季オリンピックの開催で、日本の選手たちの活躍を期待致します。

2月は平和と紛争予防及び紛争解決月間です。ロータリーの友に詳しく掲載されておりますのでご一読ください。2月24日(土)は第2550地区第3グループA・BのIMが開催されます。市内10クラブの大切な会合ですので、皆様のご参加をよろしくお願い致します。

本日の卓話は会員卓話で平澤照隆会員に「彼岸について」お話をいただきます。どうぞよろしくお願い致します。



幹事報告

藤島 拓 幹事

§ 2月のロータリーレート 1ドル=110円

§ 各親睦サークル活動にご参加ください。

§ ロータリー手帳ご希望の方はお申し出ください。(回覧)

§ 国際大会(カナダ)親善朝食会のご案内が届いております。(回覧)

§ 本日例会終了後、理事役員会を開催致します。



修了証

第2550地区 RLI パート3 修了証 田中正夫 会員



皆出席表彰

坂本 昭一 会員 2007年1月より 満11カ年

山本 敬三 会員 2012年1月より 満6カ年



ロータリー財団・米山記念奨学会表彰

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

鈴木秀明会員 3回目

平澤照隆会員 2回目・安齊誠一会員 2回目

米山記念奨学会

マルチプル米山功労者

安齊誠一会員 4回目

米山功労者

岩本一男会員 初回



インタラクティブ委員会報告

磯貝 太 副委員長

§ 2月4日(日)天候不良により延期となりました。後日改めましてお知らせ致します。

§ 2月21日(水)南風クラブ3名が卓話者として参ります。よろしくお願い致します。



国際奉仕委員会

鈴木 秀明 委員長

§ 3月17~18日ベトナムホーチミン市ローズハウス(孤児院)への訪問日程が決定致しました。18日に寄付金贈呈式を行う予定です。皆様、奮ってのご参加をよろしくお願い致します。



ロータリー情報委員会

関口 隆 委員長

§ 2月8日(木)17:00より、新入会員オリエンテーションを開催致します。

現況報告書・手続要覧・ロータリーの友・ガバナー月信をご持参ください。



スマイルボックス委員会報告

市原 久典 委員

§ 坂本昭一会長 立春も過ぎました。もうすぐ春です。風邪をひかぬよう。本日の卓話は平澤様です。よろしくお願い致します。

§ 田中正夫副会長 平澤さん、卓話ありがとうございます。

- § 藤島 拓幹事 平澤様、本日の卓話、楽しみにしております。よろしくお願い致します。
- § 平澤照隆会員 本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。
- § 小保方明美会員 2月15日は、お釈迦様のお亡くなりになった日です。今日は平澤お尚人様のお話をいただけるので、自分の研修会を抜け出して参りました。よろしくお願い致します。
- § 嶋田辰雄会員 平澤さん本日の卓話、楽しみにしています。
- § 関 享一会員 平澤様の卓話を楽しみに来ました。よろしくお願い致します。
- § 田村一夫会員 平澤和尚、本日の卓話、「川の向こうのお話」楽しみにしています。
- § 喜内敏夫会員 実家の金沢は積雪が1.0mに近づいて大変です。断水も半日程あったようです。ただ、高校1年の昭和38年の大雪では2m以上積もりました。
- § 村上芳弘会員 寒さが続いています。体に気を付けましょう。
- § 仲田俊夫会員 立春を過ぎても寒さが続きます。寒さに負けずにロータリー活動頑張りましょう。
- § 山本敬三会員 皆出席6年になりました。7年目に向けて精進します。
- § 関口 隆会員 来月、私の会社では3月3日は「ひなまつり」ではなく「耳の日」です。3にちなみまして3年に1度、補聴器のPRをさせていただきます。レターボックスに資料を入れてありますので、ご覧いただきますと幸いです。よろしくお願い致します。
- § 荻原英美会員 1. 事業継承税制が大幅に改正され、会社株式移転がやり易くなりました。
 ① 2/3の制限がなくなり、100%移転可能
 ② 80%の雇用条件がなくなりました。
 ③ 継承者になる人の拡大が行われます。
 2. 所得拡大促進税制が、さらに有利になりました。賃金を1.5%以上上げると税額控除15%
- § 市原久典会員 本日もスマイルありがとうございました。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 16,000円



会員卓話

平澤 照隆 会員 真言宗智山派 宗教法人 金剛定寺 住職

「彼岸について」

彼岸とは読んで字の如く、彼の岸、つまり向こう側の岸で、
 迷い・苦しみ・煩悩のない清らかな世界のことです。

それでは、どのようにして現在のよう彼岸会が営まれるようになったか、お話ししたいと思います。
 彼岸とは古来よりの太陽崇拝の信仰と中国より伝わった浄土信仰それに仏教の中道の考えが合致した
 ものと言われています。

仏教が伝わる以前の日本では太陽崇拝の儀式が行われていました。農作物にとって、太陽の恵みは欠かせないものです。

この彼岸の時期、寒い冬を乗り切ってこれから春に向けて農耕の季節を迎えるわけです。



暑さ寒さも彼岸までと言う言葉が有るように、この季節の変わり目の時期に一年の農耕の安全と豊作を祈願していたのです。

一説には、お彼岸という言葉は「日願」が語源だとの説もあります。

春分の日と秋分の日には太陽が真東から出て、真西に沈む。そして昼と夜の長さが同じであり、大変意義深い日であった訳です。この日にいろいろな貢ぎ物を献げて五穀豊穡と無病息災を祈ったと思われます。

今でも、近畿地方の一部に残っているとされる「日迎え・日送り」の行事。

これは彼岸の入りには朝日が出てくる東の方向にあるお宮やお寺を参拝し、日中は南の方向にあるお宮やお寺を参拝し、又彼岸明けには西の方向にあるお宮やお寺を参拝して、農耕の安全と豊作の祈願、そしてご先祖様をお祭りして家内安全や無病息災を祈願したそうです。

次に浄土思想ですが、先ほど述べたように春分・秋分の日が、太陽が真東から昇って、真西に沈む事から、浄土思想で信じられている極楽浄土の世界は西方浄土と言うように

西の方角の遙か彼方にあると考えられています。

彼岸の中日（春分と秋分）は太陽が真東から昇り真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いを馳せたのが彼岸の始まりとも言われています。

元々中国より伝わったものですが、心に極楽浄土を思いまねき、浄土に生まれ変われることを願ったものですが、日本に伝来後いつの間にか法要を営み、祖先を祀る行事へと変化していったようです。

最後にお釈迦様が説かれた中道の教えですが、仏教では極端を嫌い何事もバランスよくゆっくり焦らず努力するという「中道」の考えを大切にしています。

例を挙げますと弦楽器において弦を張りすぎると切れるし、ゆるみすぎると音に鳴りません。

中間がちょうど良いと言う考えです。

「暑さ寒さも彼岸まで」とされるように、この時期は暑からず寒からず「中道の季節」ともいえるのです。又、彼岸の中日（春分・秋分）の日には昼と夜の長さが同じになる、仏教で良しされる「中道」の日なのです。この様にこの3点がうまく融合して現在の彼岸会を形成して言ったと思われます。

それではこの彼岸会はいつ頃始まったのでしょうか。

文献によると大同元年（西暦806年）2月、崇道天皇（早良親王）を慰めるため、諸国の国分寺に於いて「7日間 金剛般若経を読まわしむ」と有ります。これが彼岸会の初めと記述されています。

彼岸とは年2回、春は3月17日より23日まで、秋は9月20日より26日まで、春分の日（3月20日）、秋分の日（9月23日）を中心として、その前後3日間、合わせて一週間設けており初日を彼岸入り、なか日を中日、最終日を彼岸明けと言うのです。

この彼岸の期間を仏教では彼岸会と言って、ご先祖様への感謝の気持ちを込めてご供養する仏教行事なのです。

貪(とん)・瞋(じん)・癡(ち)

仏教では我々一人一人人間として生まれてきて必ず持って生まれてくる物が有るとされています。それは何かというと3つの煩惱（貪・瞋・癡）のことです。

この仏教において克服すべきもの（人間の諸悪・苦しみの根源）とされる最も根本的な三つの煩惱、（貪・瞋・癡）を毒に例えて三毒（さんどく、梵: triviṣa, トリヴィシャ）と言うのです。

1、貪（とん）とは貪欲のとんで「むさぼりの心」（欲深く必要以上に物をほしがるところの心）のことです。

欲には五欲あり。食欲・物欲（財欲）・色欲・名誉欲・睡眠欲の五つです。

「小欲知足」という言葉がありますが、これは「よく少なくして足るを知る」という事で、いろいろな物を欲しがらず現在の状態を満足する事、与えられた現実を素直に受け入れる事です。

2、瞋（じん）とは、瞋恚（しんに）ともいい、我（自分）にそむくことがあれば必ず「怒りの心」の働きです。自己中心的な心、猜疑心等で、怒ること、腹を立てるこころを指します。此の怒りの心が増幅すると恨みの心に発展するのです。

3、癡（ち）とは、愚癡の痴であり、真理に対する無知の心。

「道理をわきまえない愚かな心」と表現します。物事の道理に暗く実体のないものを真実のように思いこむことです。

全ての事を自分の思い道理にしたい、自分だけ年を取らず病気にならずいつまでも長生きしたい。といった我が儘な心の事です。この愚痴の心は「無明」とも呼ばれ、迷いの心の根源とされるのです。愚痴の心から貪りの心が起こり、貪りの心あるところには必ず怒りの心が起こります。これらの三つが微妙に絡まって煩悩の世界から抜け出す事が出来ないのです。

これら三つの貪・瞋・癡は人間が生まれながらにして持っている煩悩であり、人間の心の中であって、人間にとって最大の敵なのです。

最悪と最善は御自分が過去に作った因縁です。御自分と御家族が仲良く家族円満に暮らせる為にも、これから話す六波羅蜜を是非とも実践してもらいたい物です。

お釈迦様は、自分も他の人もより高い幸福を得ることを到彼岸（パーラミータ）として6つの教え六波羅蜜の教えを示されたのです。

煩悩に満ちた現実の世界・今住んでいるこの世界「此岸」と苦しみのない悟りの世界「彼岸」の間に流れているのが、人間の悩みの世界が作っている煩悩の川なのです。

そこで、迷いの世界「此岸」から、六つの修行の船に乗って悟りの世界「彼岸」に渡ろうというのが、彼岸の教え、六波羅蜜の教えなのです。

その六つの修行の船とはどんな船なのでしょう。

第一の船は

布施：物質や心に捕らわれず、関わりを持った人に優しさや喜びを分け与える事、施す事。

財施 金銭や物品を他人に施す物質的な布施の事

法施 人に物事の道理を説き、正しい方向に導く事

無畏施 人の悩みや恐れを取り除き安心を与える事

第二の船は

持戒：規律を守って、節度有る生活を過ごす事。

真言宗では代表的な戒に十善戒があります。

不殺生：生き物をみだりに殺しては成らない。

- 不偷盜：盗みを犯しては成らない。
 不邪淫：みだらな行為をしてはならない。
 不妄語：嘘をついては成らない。
 不綺語：中身の無い言葉は話さない。
 不悪口：乱暴な言葉は使わない。
 不両舌：二枚舌は使わない。
 不慳貪：激しい欲を抱かない。
 不瞋恚：激しい怒りを抱かない。
 不邪見：誤った見解を持たない。

第三の船は

- 忍辱：不平不満を言わず、心を動かさずに堪え忍ぶ事。
 常に冷静さを保ち、腹を立てない事です。チョットのことで直ぐ切れやすくなっている現代の人間には、特に必要な事だと思います。

第四の船は

- 精進：心に目的を持ち、その目的の向かってたゆまず努力し歩む事。

第五の船は

- 禪定：常に平静な心、穏やかな心持ち続ける事。冷静に第三者の立場で自分自身を見つめる事です。

第六の船は

- 智慧：心理を見抜く力を身につけ、迷いを払拭し無上の境地に到る事。一切の諸法に通達し、愚痴の心を対治し、迷いを断ち、真理を悟る事です。

この六つの船を「六波羅蜜」とされているのです。

日頃は忙しくてなかなか出来なくても、年2回のお彼岸には、お釈迦様の説かれたこの六つの教えを実践しようと言うのが、お彼岸本来の意味なのです。だから、お彼岸にはご先祖様のご供養をするとともに、彼岸に渡る修行を通して、自分自身を見つめ直す良い機会なのです。

どうぞ、この彼岸の期間をうまく利用して自分自身を見つめ直してみてください。新しい自分が見つかるかもしれません。

出席報告

若林博純 委員長

会員数	53名	前々回	1月24日
出席数	35名	訂正率	66.66%
欠席数	18名		
出席率	70.00%		

例会予定

第1760回 2月14日(水)

地区委員卓話：喜内敏夫会員
 「地区委員について」



プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第 1761 回 2 月 21 日 (水)	12 : 30 ~ 13 : 30	外部卓話 : 宇都宮南高等学校 南風倶楽部活動報告	ホテルニューイタヤ
第 1762 回 2 月 24 日 (土)	15 : 00 ~	第 2550 地区 2017-2018 年度 インターシティーミーティング	宇都宮グランドホテル
第 1763 回 2 月 28 日 (水)	12 : 30 ~ 13 : 30	陽南 RC 合同例会 市長卓話 : 佐藤栄一市長	ホテルニューイタヤ